卒業研究Ⅰ

科目ナンバリング　THE-401
必修　　2単位

福島　健介

1. 授業の概要（ねらい）

教育学演習は、ⅠとⅡを通期で実施します。この授業では、卒業研究・卒業論文を書くために必要な研究リテラシーを学びます。

ここでいう研究リテラシーとは、直接的には

・リサーチリテラシー
　論文を中心に、どのように先行研究や参考資料を探し、入手し、参考にすればよいか
・統計リテラシー
　論文を読む、書くために必要最低限の統計的知識とソフトウェアの使い方
・英文読解力
　論文に用いられる英語は、実はかなり易しい表現しか使われていません。専門用語を別にすれば高校1年程度の文法が分かっていれば、ほぼ理解可能です。
・プレゼンテーション能力、ICT活用能力
　効果的に情報を収集し、他者に対して、自分の考えを効果的に伝える力等々を指します。したがって、前後期を通してこれらの力を身に付けてもらいます。

2. 授業の到達目標

上記のリテラシーが身に付くこと。また、それらを通して、議論をする力・課題を発見する力・知を共有する力など「価値ある力や経験」を蓄積することが授業の目標となります。

3. 成績評価の方法および基準

演習形式の授業ですから、担当した際の報告、レポートの内容、議論をする際の発言等で成績を付けます。
報告及び議論　50%
最終レポート　50%

4. 教科書・参考文献

参考文献
『大学生のためのリサーチリテラシー入門：研究のための8つの力』

5. 準備学修の内容

・リサーチリテラシー
・統計リテラシー
・英文読解力
・プレゼンテーション能力

いずれも、授業内で伝えられることは限られています。全ての課題で持ち帰り、自学自習、共同作業が必要となるはずです。

6. その他履修上の注意事項

はじめて経験する知識や作業に触れることは、それ自体に価値があります。社会に出ればルーチンワークの方がむしろまれです。また、知識や方法は調べることができても、「経験」を検索することはできません。

したがって、何事にも積極的に取り組む、話をする、関わろうとする姿勢が必要だと考えます。そのための第一歩は、「休まない」ことです。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション。教育学演習で何を学ぶか。受講者の問題意識の交流など。
【第2回】　○情報収集力1
論文、資料検索について
・CiNii
・OPAC
・Webcat　等、各種DBの使い方について
【第3回】　○情報収集力2
論文、資料検索実習
・CiNii
・OPAC
・Webcat　等、各種DBを用いて自分の関心のあるテーマについて論文、資料を探してみる
【第4回】　○データ分析力1
統計の基礎知識の必要性と社会調査の公開データ及びその利用法
【第5回】　○データ分析力2
クリティカルシンキングの必要性
【第6回】　○データ分析力3
社会調査法の基礎基本1　質問紙調査の企画・設計
質問紙調査の種類
質問紙調査の5つのステップ
質問紙調査の企画
標本抽出（サンプリング）の種類
【第7回】　○データ分析力3
データの集計
Excelを用いた単純集計とクロス集計演習
【第8回】　○書く力1
良いレポートと良くないレポートの違い
【第9回】　○書く力2
執筆の約束事（書式・引用・図表の作成など）

【第10回】　○書く力3
　執筆の進め方　学術的文章を書くステップ
【第11回】　○課題発見力1　＜LMSによるオンライン授業とします＞
　自分でテーマを見つけるということ
【第12回】　○課題発見力2
　テーマを深める、先行研究を調べる
【第13回】　○プレゼンテーション力1
　プレゼンテーションソフトの利用と評価
【第14回】　○プレゼンテーション力2
　良いプレゼンをするための要素
【第15回】　前期のまとめ
自身のリサーチと分析に基づき、プレゼンテーションを行う